

団体名 南城市教育委員会生涯学習課	連絡先 TEL : 098-917-5369 Eメール : syougai@city.nanjo.okinawa.jp
----------------------	---

1 実践事項 (③)

タイトル：「南城市の社会教育事業」

2 実践内容

- ① 公式LINEを活用した若い世代のボランティア確保と連携
- ② 地域人材を活用したスポーツ教室の実施
- ③ 新型コロナの影響により中止となった海外短期留学に代わる県内ホームステイ事業

3 説明資料

- ① 公式LINEの活用について

地域学校協働活動においては、玉城地区、知念地区、佐敷地区、大里地区にあるそれぞれのボランティア団体と学生ボランティアが地域コーディネーターと連携し学校支援を行っている。また、若い世代がボランティアに参加しやすいよう公式LINEアカウントを活用して連携を図っています。



LINE公式アカウント

**ボランティア情報を
配信しています！**

**普段の様子は
タイムラインで★**

The image is a promotional graphic for the official LINE account. It features a large QR code on the left side, which is used to scan and follow the account. The background is a solid light blue color. The text is in bold, black and red fonts, emphasizing the availability of volunteer information and the use of the timeline for updates.

南城市学校支援ボランティア

南城市では小・中学校の児童・生徒を対象に学習やクラブ活動、
環境整備等のサポートを地域ボランティアで行っています。



あなたの得意★や好き♡、
今までのキャリア🎒や経験➔を生かして

できるときに、できることを、
できることから、始めてみませんか？

活動の様子



どなたでも参加OK!! まずはお問合せください☆

② 地域人材を活用したスポーツ教室

【野球教室】

南城市出身の独立リーグ出身者や甲子園出場者を講師として市内の中学生を対象に野球教室を実施しました。参加した中学生は技術や知識だけではなく、野球をするうえでの心得や精神面も学んだ様子でした



野球教室の様子【南城市ホームページ】

<https://www.city.nanjo.okinawa.jp/nanjo-diary/1635405905/>



【陸上教室】

南城市青少年育成市民会議が共催した陸上教室は、10月11日に黄金森陸上競技場（南風原町）、13日と19日に南城市陸上競技場で開かれ、地区陸上大会に出場する市内の小学生が参加。全国大会で実績を残した南城市出身の講師が、種目別に基本動作など丁寧に指導しました。



陸上教室の様子【南城市ホームページ】

<https://www.city.nanjo.okinawa.jp/nanjo-diary/1668418776/>



③ 県内ホームステイ事業

南城市では、毎年アメリカ合衆国へ中高生を派遣する海外短期留学事業を実施していますが、近年は新型コロナウイルスの影響により海外へ渡航することができないため、代替事業として県内のホストファミリー宅にてホームステイを行う「まちなか留学」を実施しています。この事業を通して、英語学習の意欲を向上させ、異文化理解と国際社会に適応する能力、資質の向上を図ります。

沖縄県内市町村
海外短期留学実行委員会
(南城市・北中城村・中城村・東村)

× まちなか留学
HELLO WORLD!

本物の国際交流に
チャレンジ!

異文化体験×英語×SDGS

令和3年度 県内留学事業

10月～11月

事前研修

【仲村秀一郎氏 オンライン講話】

沖縄から飛び出し世界で活躍する先輩の話聞こう！



【特別英語講座】

英語でカッコイイ
「自己プレゼン」を
作ろう！



世界の教室をつなぐ
WORLD CLASSROOM

【システムを利用した英語プレゼン練習＆オンライン国際交流】

①音声認識システムを使って、自分の英語プレゼンを点数化、お手本の音声聞きながらブラッシュアップ！



②ブラッシュアップした英語プレゼンを海外の生徒に披露！

【まちなか留学（県内留学）】

①日帰りホームビジット

県内外国人宅を訪問し、一緒に料理体験や異文化交流♪



②まちなか留学2日間



県内外国人宅で生活を共にし、まるごと異文化体験＆国際交流！

【オンラインSDGs実践者講話】

14 海の豊かさ
14.5

県内でSDGsを実践する活動家の話を聞こう！



4 成果

- ① 学校支援ボランティアの高齢化が課題とされていた中、公式LINEを活用し若い世代のボランティア参加が増えて、数多くの大学生が地域学校協働活動に参画し始めています。
- ② 地域の人材がスポーツを通して、これまで培ってきた技術や知識を地域の子どもたちへ還元し、学びのサイクルを実践することができた。
- ③ 新型コロナウイルスの影響で、数多くの事業が中止となる中、学びの機会を止めないよう「まちなか留学」を実施し、英語学習や異文化体験の機会を創出することができた。

5 課題

- ① 地域学校協働活動の課題としては、地域から学校への活動と共に、学校から地域への活動も実践できるようコーディネーターを中心に学校と地域課題を把握し、課題解決につながるよう取り組んでいきたい。また、その活動がコミュニティスクールへつながるよう緩やかなネットワークづくりに尽力していきたい。
- ② スポーツを通じた学びのサイクルを実践することができたことを好事例にし、その他文化活動や語学学習など幅広い分野で地域人材を活かした活動へ繋げていきたい。
- ③ 南城市では海外短期留学や ESL キャンプなど英語や国際交流など学習機会の提供を行ってきたが、そこで学んだ子どもたちが将来的にその経験やスキルを地域に還元できるような道筋を作っていくことが課題である。